

Rotary International District 2570  
GOVERNOR's Monthly Letter

2025-2026年度 Vol.11

# ガバナー月信

# 5

月号  
2026.5.10



大正浪漫夢通りの鯉のぼり

📍 大正浪漫夢通り商店街  
(川越市連雀町 17-1)

Rotary 

**UNITE  
FOR  
GOOD**

第2570地区ガバナー

# 平和構築と 紛争予防

Peacebuilding  
and  
Conflict Prevention



2025-26年度 国際ロータリー 第2570地区 ガバナー

相原茂吉 *Aihara Mokichi*  
(川越RC)

大河ドラマで豊臣兄弟が始まった。何度も主役を変えては繰り返しているが戦国時代は確かに面白い。信長や秀吉・家康はもちろんの事、戦国時代を語るには武田信玄は欠かせない人物であり、上杉謙信と主に、時代の雄であったことは間違いない。

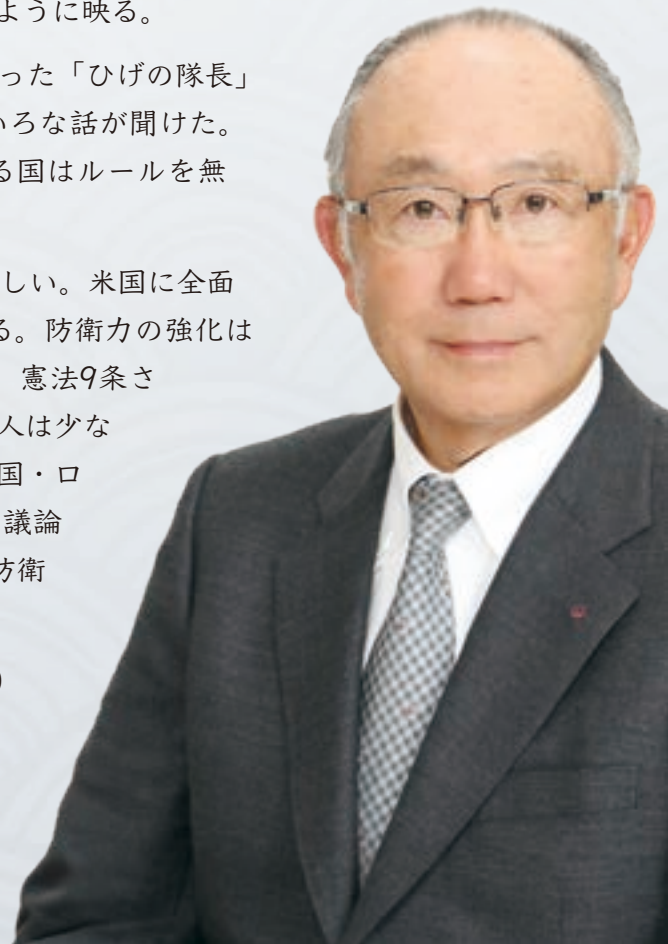
特に「武田節」は武田信玄とその配下の武士たちが 出陣する様子を歌ったものだ。歌は“甲斐の山々陽に映えて われ出陣にうれいなし”で始まるが、その2番に「人は石垣、人は城 情けは味方、仇は敵」という歌詞がある。

武田信玄が活躍した戦国時代は、戦に明け暮れた時代だった。翻って現代を見ると平和とは程遠い状況にある。国連は中心となるべき常任理事国ロシアが突然ウクライナに攻め込んだ。台湾は独立国としてのすべての要件を満たしているのに、中国は国内問題と強弁して台湾を併合しようとしている。中東問題はいよいよ激化し、長いあいだ世界の警察官だった米国もイランに対して強硬手段をとり世界を震撼させている(2026.4.1現在)。世界紛争を治めるどころか逆に“アメリカファースト”とばかり自己利益優先の動きに転じているように映る。

過日第4グループのIMで元参議院議員、元陸上自衛官であった「ひげの隊長」佐藤正久氏の講演があり、懇親会の席で隣だったのでいろいろな話が聞けた。氏との会話の中で「力のない国はルールを重んじ、力のある国はルールを無視する」とは、正に時代を象徴しているように感じた。

厳しさを増す国際情勢の影響で、我が国も防衛力強化に忙しい。米国に全面的に頼れそうもない時代を迎え、自助努力を強いられている。防衛力の強化は時代の要請で避けられないという国論が優勢となり始めた。憲法9条さえ守っていれば中国や北朝鮮の脅威は心配ないとする日本人は少なくなってきた。海を挟んでいるとはいえ、日本は地理的に中国・ロシア・北朝鮮それに米国と直接対峙している。防衛力強化の議論は避けて通れない。しかし防衛装備を強化することだけが防衛力の向上とは限らない。

世界中から日本に観光客が訪れている。昨年は優に4000万人を超えた。日本では訪日する外国人を外貨稼ぎやオーバーツーリズムの観点から見がちだ。円安だから海外から日本に来る人が増えた。このような視点も多い。しかし



実際に日本に来る外国人の視点は、日本人の思い込みとは大分違うようだ。

夜の8時や9時に女性が一人で歩ける街は欧米にはないと言われる。それだけに日本の安全は彼らにとって驚きであり、羨ましい文化に映るのだ。街にゴミが落ちておらず清潔さに驚く人も多い。欧米の街には至る所にゴミ箱があるが、それでも路上のゴミは日本の比ではない。電車がきれいで時刻通りに運行されている点にも驚きの声が多い。電車の乗降や駅のエレベーターも整然としている。海外では人々は我さきに電車に乗り込むのが普通で、マナーや譲り合いもない。

食事の面でも日本の評判は高い。本来の和食だけでなく海外から入ってきた料理を日本人は創意工夫で美味しくしてしまう。日本のパンやラーメン、カレー、お菓子等にハマる外国人の話を良く聞く。さらにレストランでの接客レベルも、日本の方がケタ違いに優れているらしい。しかもチップを受け取らない。レストランだけでなく、お店での接客にも外国人は驚いている。本国では客がきても無愛想に突っ立っている店員が多いので、日本の接客に感激している。

世界中から日本に人が集まるのは、円安だけが理由ではない。外人の方が日本の良さに気づいているのだ。日本で驚いたことを聞かれた、あるイタリア人は、マクドナルドでの出来事を第一にあげた。日本人の若者が机の上のノートパソコンをそのまま残してトイレに行ったのだ。同じことをイタリアですれば、トイレから戻った時パソコンは無くなっている。日本人のマナーは人類が目指す最高の域に達している。自国と比較して、彼らは日本を絶賛しているのだ。

しかも、日本では神社とお寺が共存している。欧米では考えられない。宗教は戦争となり、勝った方は負けた相手を破壊する。ところが日本は違う。新しく中国から渡ってきた仏教を受け入れたが、従来の神道や神社もそのまま残した。神仏習合ばかりかキリスト教文化も吸収している。このような文化は世界から見ると極めて特異だが、肝心の日本人は気付いていない。日本の独特な文化に惹きつけられ外国人が増えるのには、それなりの理由があるのだ。

今の世界を見回すと、自分が正しいとばかり相手を攻撃し武力で威嚇する蛮行が目立つ。事実、頻繁に紛争が起きている。政治でも宗教でも二者択一の思考しかない人から見れば、すべてを包み込んで共存させる日本が新鮮に映る。外国人が日本へ押し寄せる背景を、日本人はもっと理解した方が良いと思う。

実際に日本を訪れた外国人は、その経験や日本の素晴らしさをネットで紹介している。日本に来る外国人の何倍もの人が、日本に興味を持っている。機会あれば日本に行きたい人も増え続けている。このような状況を日本人では、まだまだ理解していない人が多い。即ち、防衛力強化で武器を買うだけでなく、世界中から日本に殺到する外国人を、日本の平和や将来の紛争予防に繋げるのである。

一義的には日本の為だが、「和を以て尊しと為す」という考え方は世界の平和に資するはずだ。多くの国は相手を屈服させるまで攻撃する発想しかない。日本の文化と思想は世界で際立っている。しかも日本自身が自己宣伝するのではない。日本を訪れる多くの観光客、彼らが日本の良さを伝えるのだ。武器には莫大なお金がかかる。しかし観光客は自分達のお金で日本にやって来る。

そこで、日本の安全な社会構造や他者への思いやりの文化を、彼らに分かり易く伝える体制を整備するのだ。日本人がいかに平和を愛しているか理解してもらう。これは日本の安全に資するし、彼ら自身にも間違いなく良い影響を与えるだろう。まさに我々ロータリアンが望む世界平和に資する最高の道標である。「人は石垣、人は城」である。

## 平和構築と 紛争予防



資金推進委員

# 「補助金管理セミナー」報告

2026年2月28日、国立女性教育会館において77名が参加し開催された。細淵克則統括委員長は主旨説明で、セミナーの準備を一所懸命に行った、財団について良く知ってもらいたいと話した。五十嵐ガバナーノミニーより寄付認証バナーと感謝状が各クラブへ手渡され、さらにポリオプラスソサエティ登録証などが個人へ渡された。ロータリーカードの紹介や補助金目標そして地区補助金の変更点や本年度の報告書提出についての注意事項説明があった。後半はロータリー平和フェローシップの推進と2025年に当地区がホストエリアへ加盟した件について詳細な説明があった。26-27年度の地区補助金候補生 新島里奈さん、グローバル補助金奨学候補 尾木哲人さんより分かり易くテンポの良い自己紹介が行われ、24-25年度グローバル補助金奨学生 石塚あすりさん（学友）の帰国報告と今後の目標が語られ、参加者から盛大な拍手が送られた。セミナー最後はポリオプラスソサエティの紹介と参加が呼びかけられた。五十嵐敦子ガバナーノミニーは講評で、私たちは一つ一つの奉仕事業についてここで学びました。この学びを実践し、そして信頼へ繋げてゆこう！と力強く訴えた。相原茂吉ガバナーの点鐘で閉会した。

資金推進委員 清水保人（熊谷南）



米山記念奨学委員会学友委員

# 米山記念奨学生修了式 並びに歓送迎会

2750地区米山記念奨学会終了式が3月20日アルカーサル迎賓館川越で行われました。

一柳達朗統括委員長の挨拶に始まり、14名の奨学生一人ひとりに相原茂吉ガバナーから終了証明書が手渡され、カウンセラーには感謝状が贈られました。

その後、奨学生がこの奨学期間を振り返ってのスピーチをし、その成長ぶりは聞く人全てに感動を与え、改めてこの米山記念奨学会の意義を感じさせました。またカウンセラーの方々だけでなくクラブの関係者の方々もこの米山記念奨学という日本独自の活動の重要性を感じられたと思います。

また鄭迎花学友会会長からは、「この奨学会はただお金を支給するだけのものではなく、終了してから学友として日本と母国の架け橋になり世界平和を民間レベルでなんとか実践していくことが最も大切」という重要なお話がなされました。

その後、歓送会に移り細井保雄米山記念奨学会理事から温かい御祝辞を賜り、出席者全員が別れを惜しむように至る所で親睦がはかられ記念写真が撮影され、最後に「手に手つないで」を全員が和になって唱和してお名残惜しいところではありましたが歓送会を終了しました。

50人を超える奨学生、学友、ロータリアンが集まり、これから世界で活躍する若人を支援することができる幸せを皆で噛み締めことができましたと確信します。米山梅吉翁とこの活動を発案して下さった東京ロータリークラブに感謝します。

米山記念奨学委員会学友委員長 田久保真理子



ガバナー公式訪問  
3/12  
(木)

## 新座 RC

会長 森 克巳  
幹事 松岡昌宏

本日、RI 第 2570 地区ガバナー相原茂吉様をお招きし「ガバナー公式訪問」が無事終了いたしました。例会前には入会 5 年未満の会員 6 名とガバナーの懇親会の場が設けられガバナーが一人ひとりにお声がけ下さり、新座クラブの若手会員の将来性に一定の評価をして頂きました。本会では、故坂口ガバナーから任期途中でガバナーを引き継いだ経緯についてまずお話があり、坂口ガバナーがよくお話しされた、「地区はクラブのためにある」と言う組織のあり方についてのお考えを表明されており、各クラブの活性化がすなわち、第 2570 地区の組織全体の強化、会員増強にも繋がってゆくと言うお話に非常に感銘を受けました。また「ロータリーの原点」と言うテーマで講話を頂きました。

1905 年にポールハリスがロータリークラブを創設したときは、友人、仲間内の友情、友好を築くためにクラブを創設し、輪番制で各事務所を例会場につかったことから、ロータリークラブと言う名前が生まれました。そして 1907 年にシカゴの町にみんなで資金を出し合って、公衆用トイレをつくったのが最初の社会奉仕事業といわれております。気心の合う仲間が一堂に会し、切磋琢磨しお互いに影響し合い、少しでも地域社会に、奉仕活動という形で還元するというのがロータリーのあり方、原点でないかと感じた一日となりました。本日は、おいそがしい中、新座クラブにお越し頂きまして誠にありがとうございました。



ガバナー公式訪問  
3/17  
(火)

## 所沢 RC・新所沢 RC・所沢西 RC

会長 梅沢好文  
幹事 井花佳彦

会長 中野和也  
幹事 幸森康夫

会長 内野 忍  
幹事 徳江和宏

本日は、ガバナー会長幹事会、1 年目から 3 年目までの懇談会、三クラブ合同公式訪問例会、並びにガバナーを囲む懇親会と、長時間にわたり、相原茂吉ガバナーよりロータリーの基本をご教授賜り、心より感謝申し上げます。とりわけ、相原ガバナーの心温まるエピソードには、感謝の心と謙虚に生きる人としての在り方が示され、深い感銘を受けました。また、高橋ガバナー補佐様をはじめ、新所沢ロータリークラブ、所沢西ロータリークラブの皆様、並びに井花幹事、吉田 SAA をはじめ関係各位のご協力に、厚く御礼申し上げます。

【3月17日】  
所沢西武 SC8 階 参加人数：145 名  
午後 4 時 00 分 会長幹事会  
午後 4 時 30 分 1～3 年目会議  
午後 5 時 30 分 本会議  
午後 7 時 30 分 懇親会 所沢駅マーケットテラス





# 表彰 Award Collection

PHF ボール・ハリス・フェロー    MPHF マルチプル・ボール・ハリス・フェロー    PHS ボール・ハリス・ソサエティ    BF ベネファクター  
 MD メジャードナー    米山 米山功労者    米山M 米山功労者マルチプル    米山MD 米山功労者メジャードナー

 PHF x1 坂戸 菅野雄介	 MPHF x4 坂戸 新井正健	 MPHF x1 狭山中央 稲見 淳	 米山 x1 坂戸 菅野雄介	 米山 x2 坂戸 三村隆司
 米山 x3 坂戸 中村幹也	 米山M x3 飯能 本橋 勝	 米山M x2 飯能 吉澤文男	 米山MD x9 志木 神山昌之	 米山M x5 志木 高橋健一郎
 米山M x5 志木 上原 実	 米山M x4 志木 田中幸彦	 米山M x4 志木 坂間智子	 米山M x3 志木 西川和人	



# 新会員紹介 New Member Introduction

<p><b>新座</b> <b>浅野喜光</b>                  入会年月日 2026年4月2日                  勤務先 株式会社 朝昌管理                  役職 取締役                  生年月日 1963年4月24日                  紹介者 宮川勝平・森田輝雄</p>	<p><b>飯能</b> <b>角田七重</b>                  入会年月日 2026年3月4日                  勤務先 医療法人 くすの木会                  役職 施設長・理事                  生年月日 1966年8月23日                  紹介者 小川晃男</p>	<p><b>本庄</b> <b>高橋幸子</b>                  入会年月日 2026年1月29日                  勤務先 明治安田生命保険相互会社                  役職                  生年月日 1973年2月12日                  紹介者 巴高志</p>
<p><b>本庄</b> <b>田村孝康</b>                  入会年月日 2026年7月6日                  勤務先 株式会社 タムラ商事                  役職 代表取締役                  生年月日 1973年9月7日                  紹介者 洪澤健司・織田裕之</p>	<p><b>本庄</b> <b>境野修二</b>                  入会年月日 2025年8月7日                  勤務先 株式会社 境野養鶏                  役職 取締役副社長                  生年月日 1973年3月5日                  紹介者 橋本和也・洪澤健司</p>	<p><b>本庄</b> <b>金子英俊</b>                  入会年月日 2026年1月29日                  勤務先 庄和観光バス(株)                  役職 代表取締役                  生年月日 1974年10月28日                  紹介者 橋本和也・洪澤健司</p>



# 訃報 Obituary

謹んで哀悼の意を表し、  
心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 澤田廣造 (入間南RC)

在籍:36年  
 【逝去】2026年2月24日(享年77歳)  
 【入会】1990年12月18日入会  
 【役職等】2010-11年度 会長



## 会員数

[2026年3月]

グループ	クラブ名	会員数				
		2025年度初め	2026年3月末	対年初増減	2026年3月末 女性会員	M Y R C 登録率%
第1グループ	川越	103	96	-7	5	67
	東松山	23	20	-3	1	40
	小川	4	3	-1	1	0
	坂戸	31	33	2	1	30
	越生毛呂	7	7	0	1	1
	川越小江戸	14	14	0	2	50
	川越西	31	37	6	7	41
	鶴ヶ島	29	30	1	2	62
	川越中央	23	21	-2	0	33
	坂戸さつき	18	20	2	4	57
東松山むさし	33	34	1	3	38	
小計	316	315	-1	27	38	
第2グループ	朝霞	22	23	1	2	50
	志木	48	50	2	5	54
	富士見	40	40	0	0	41
	新座	25	26	1	3	23
	和光	4	5	1	1	80
	新座こぶし	10	10	0	3	70
小計	149	154	5	14	53	
第3グループ	入間	39	40	1	1	50
	所沢	68	68	0	6	32
	飯能	68	69	1	2	41
	新所沢	19	19	0	2	63
	日高	22	22	0	4	32
	所沢西	37	40	3	4	31
	新狭山	12	12	0	0	92
	所沢東	47	48	1	2	30
	入間南	39	42	3	1	55
	狭山中央	19	18	-1	5	37
小計	370	378	8	27	46	
第4グループ	深谷	56	59	3	13	44
	本庄	97	113	16	13	30
	秩父	54	53	-1	1	51
	寄居	34	33	-1	1	67
	岡部	19	20	1	2	70
	深谷東	74	72	-2	0	37
	皆野・長瀬	8	8	0	0	25
	深谷ノース	28	32	4	5	48
小計	370	390	20	35	46	
第5グループ	熊谷	97	97	0	4	50
	行田	52	53	1	5	16
	羽生	36	42	6	3	19
	加須	22	24	2	1	13
	熊谷西	6	6	0	0	50
	行田さくら	52	50	-2	4	67
	吹上	5	5	0	0	80
	熊谷籠原	27	27	0	0	41
	熊谷南	26	27	1	2	26
小計	323	331	8	19	40	
区地	合計	1,528	1,568	40	122	41

## スケジュール

### 5月

2 (土)	3502 地区大会
3 (日)	
9 (土)	財団第1次選考試験
11 (月)	財団第1次合格通知発表
16 (土)	財団第2次選考試験・選考会議
18 (月)	財団第2次合格発表
29 (金)	青少年交換
30 (土)	全国大会

### 6月

6 (土)	財団地区役員会議
7 (日)	米山学友総会 (予定)
13 (土)	
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	国際大会 (台湾)
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	財団アプリケーションガイダンス第5回オリエンテーション・歓迎会
21 (日)	青少年交換閉講式
27 (土)	年度末地区役員合同会議

### ガバナー月信 5月号 2025-2026年度 Vol.11

2026年5月10日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所  
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号  
ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[Web] https://rid2570.gr.jp

[ガバナー月信編集委員会] 委員長：菊池俊介 副委員長：荻原之彦  
委員：佐藤道晴 八木拓也 細田智也